

表象文化演習「コミュニケーションとアート」ルーブリック

大区分	観点	観点の説明 ※観点ごとに、その内容を説明する。	評価基準				
			1 ※D (単位取得不可) に該当する 評価基準を示す	2 ※C (単位取得基準) に該当する 評価基準を示す	3 ※B に該当する評価基準を示す	4 ※A に該当の評価基準を示す	5 ※A+ に該当の評価基準を示す
課題発見・分析能力	研究テーマ（発表のための目標）の設定	興味関心を踏まえて論理立てて課題を設定し、適切なテーマを設定する	与えられた研究テーマに対し、意義や背景を他者に説明できるが不十分である。	与えられた研究テーマに対し、意義や背景を他者に説明できるが質問に対しての回答が的確ではない。	与えられた研究テーマに対し、意義や背景を他者に説明でき、質問に対しての回答ができる。	与えられた研究テーマに対し、意義や背景を他者に分かりやすく説明し、質問に対し回答できる。	与えられた研究テーマに対し、意義や背景を他者に分かりやすく説明し、質問に対して的確に回答できる。
課題完遂能力	業務完遂能力（計画実行）	目的と目標を設定し、順序立てて計画して確実に実行できる	場当たり的な行動をしたり、目的と目標を設定して計画を立てていても、計画倒れで実行イメージが伴わない	目的と目標を設定し、計画を立ててそれを実行できる	目的と目標を設定し、計画を立て、その計画通りに実行できる	適切な目的と目標を設定した上で複数のなかから目的に応じた方法を選択し、計画を立て実行できる	適切な目的と目標を設定した上で複数のなかから最善の方法を選択でき、計画を立て実行できる
創造性	作品	作品を作る能力	設定したアイデアやコンセプトに曖昧で、作品も作ることができなかった。	設定したアイデアやコンセプトに曖昧で、途中で作品が進まなくなってしまった。	設定したアイデアやコンセプトに曖昧であったが、なんとか作品を制作しようとした。	設定したアイデアやコンセプトに基づいて作品を制作した。	設定したアイデアやコンセプトに基づいて作品を制作することができた。
	プレゼンテーション	スライド資料が適切に作成できる	スライド資料の文字が小さい、図表が少ないなど、聴衆にとってわかりにくい。	文字の大きさは十分だが、図表やグラフが少なく、聴衆にうまくPRできていない。	文字の大きさも十分で、図表やグラフも使っており、スライド資料の順番も問題ない。	文字の大きさや図表の使い方は十分だが、情報が多過ぎる、あるいは少なすぎる。	発表内容に照らして工夫したスライド資料を作れている。その結果、聴衆に内容がうまく伝わった手ごたえがある。
	論文執筆	文章力、構成力、論理展開力を十分に有している	文章を書いていない（箇条書きなど）。問題意識から結論に至るまでの論理展開が不明である。	論文としては稚拙な言葉づかいだが、文章を書けている。論文の構成にやや難がある。	論文として正しい言葉づかいができて、文章を書けている。論文の構成にやや難がある。	論文として正しい言葉づかいができて、文章の構成もおおむねできている。論文の構成にやや難がない。	論文として正しい言葉づかいができて、文章の構成もおおむねできている。論文の構成にやや難がない。結論を説得的に記述できている。
論理的思考力	論理的思考	複雑な事象の本質を整理し、自分の意見や手順の構造化や論理的な展開ができる	課題に関連する事象・情報を整理し、構造化できない	課題に関連する事象・情報を整理し、構造化ができる	課題に関連する事象・情報を整理して理論的に構造化でき、自分の意見や手順を論理的に展開できる	課題に関連する事象・情報を整理して理論的に構造化でき、意見や手順を論理的に展開できる	課題に関連する事象・情報を整理して理論的に構造化でき、他者を納得させることができる意見や手順を論理的に展開できる
	専門知識の活用・応用能力	専門的な知識を実社会での実践に役立てることができる 専門的知識が習得できる 社会的意義や現実可能性から論理立てて課題を設定し、適切なテーマを設定できる	専門的な知識に関心がない、またはその獲得・修得に取り組んでいない	専門的な知識の獲得・修得に取り組んでいるが、説明できるレベルではない	専門的な知識について、基本は理解しており、説明できる	応用的な課題について専門的な知識を用いて説明できる	専門的な知識を実社会での実践に役立てることができる
課題発見能力	研究テーマ（論文のための目標）の設定	研究テーマを理解し、適切なキーワードで、文献調査ができる	与えられた研究テーマに対し、論理立てて問題を整理できていない。	与えられた研究テーマに対し、論理立てて問題を整理できているがモデル化までできていない。	与えられた研究テーマに対し、論理立てて問題を整理しモデル化ができている。	与えられた研究テーマに対し、論理立てて問題を整理しモデル化を行い、そのモデルの検証ができる。	与えられた研究テーマに対し、論理立てて問題を整理しモデル化を行い、そのモデルの検証を元に解決方法を提案できる。
情報管理能力	文献（情報）検索	研究に関する情報を使用可能な状態で適切に管理している	研究テーマに関する情報整理が不十分であり、疑問に対する回答ができない。	研究テーマに関する情報整理はできているが、疑問に対する回答が不十分である。	研究テーマに関する情報整理はできているが、疑問に対する回答も回答することができる。	研究テーマに関する情報整理はできているが、多角的な疑問に対して回答することができる。	研究テーマに関する情報整理はできているが、多角的な疑問に対しても適切に回答することができる。
	情報整理	研究に関する情報を使用可能な状態で適切に管理している	研究に関する情報整理が不十分であり、疑問に対する回答ができない。	研究テーマに関する情報整理はできているが、疑問に対する回答が不十分である。	研究テーマに関する情報整理はできているが、疑問に対する回答も回答することができる。	研究テーマに関する情報整理はできているが、多角的な疑問に対して回答することができる。	研究テーマに関する情報整理はできているが、多角的な疑問に対しても適切に回答することができる。
コミュニケーション力	ディスカッション	発言力、コミュニケーション力の活用ができる	発言をしない。	発言はあるものの、議論の流れが読めず、議論を進めるような発言ができない。	議論の流れを読み、議論を進めるような発言ができる。自分の意見ばかり主張しがちであるか、あるいは、周囲の意見に同意してばかりである。	議論の流れを読み、議論を進めるような発言ができる。自分の意見だけではなく、周囲の意見を求められる。議論を収束させ、結論を出すことに貢献していない。	議論の流れを読み、議論を進めるような発言ができる。自分の意見だけではなく、周囲の意見を求められる。議論を収束させ、結論を出すことに貢献できる。
スケジュール管理能力	（作業の）スケジュール管理	課題を解決するための作業スケジュールを適切に管理できる	スケジュールの管理ができず、締め切りや発表日の直前に取り組みで、締め切り間に合わない	スケジュールの管理ができず、成り行き任せで、なんとか間に合わせている	締め切りや発表日までに計画的に作業を進めることができるが、もっと時間があればよりいいものができるのにと妥協してしまう。	計画的に作業を進め、満足のいく成果物をつくることできる	計画的に作業を進め、早めに成果物を作り上げて、さらに完成度を高めることできる
チームワーク力	ゼミ運営（主体性）	積極的にゼミの様々な活動に参加できる	ゼミ運営に関わる気が全くなく、できる限り何もしないまま過ごす	ゼミ運営にあまり関わる気がなく、頼まれても協力しない	ゼミ運営に積極的に関わる方ではないが、頼まれれば協力する	ゼミ運営に積極的に関わり、運営にも協力する	ゼミ運営に積極的に関わり、運営の改善を提案できる
現場力	応用力	現場での応用力	フィールドワークの際に、現場の状況が全く判断ができず、調査ができなかった。	フィールドワークの際に、現場の状況を十分に判断できなかったが、調査を進めようとした。	フィールドワークの際に、現場の状況を判断することに手間取ったが、どうにか調査を進めた。	フィールドワークの際に、現場の状況を判断しながら概ね調査を進めることができた。	フィールドワークの際に、現場の状況の変化を判断しながら十分な調査を進めることができた。
チャレンジ精神	挑戦（チャレンジ）的要素	意欲、行動力、PDCAサイクルを意識できる	何事にも挑戦しようという気持ちがない。	何かに挑戦しようという気概がある。	目標を設定し、新しいことに挑戦する。	高い目標に向かって新しいことに取り組み行動力がある。	挑戦することでぶつかる困難に試行錯誤しながら立ち向かい、自己成長につながっている。
ファシリテーション力	ファシリテーション	ゼミ活動への理解や、話し合いでの舵取りができる	ゼミ活動の目的、内容などを理解せず、話し合いや共同作業において、自分から全く意欲的に動こうとしない。	ゼミ活動の目的、内容などは少しは理解しているが、話し合いや共同作業においては、基本的に他人任せである。	ゼミ活動の目的、内容などある程度理解しており、話し合いや共同作業においても、周りとの協力は進めようとしている。	ゼミ活動の目的、内容を理解し、話し合いや共同作業においては、話しやすい雰囲気を出せるよう心掛けている。また、話し合いが良い方向に進むよう努力している。	ゼミ活動の目的、内容を十分理解した上で、ゼミ全体でそれらを共有しようとして努力している。また、話し合いの中で、方向性を意識しながら舵取りを中心に行っている。
リーダーシップ力	リーダーシップ	全体への意識を有し、スケジュール管理やグループの意見の集約ができる	成果物の完成のことやグループ全体の動きを全く考えず、自分のことばかり考えている。また、話し合いでは、ほとんど発言せず、合意形成へ向けて、自分から他人に働きかけることが全くない。	成果物の完成のことをあまり考えず、全体の動きを見ずに行動している。また、話し合いでは、順番が来た時だけ発言するのみで、合意形成へ向けて、他人や全体への働きかけはほとんどない。	成果物の完成に向けて、全体の動きを意識しながら行動している。また、話し合いでは、合意形成へ向けて自分の意見を発言している。	成果物の完成に向けて、全体の動きを見ながら、締切日などのスケジュール管理に貢献している。また、話し合いでは、合意形成へ向けて、グループの意見をまとめることに貢献している。	成果物の完成に向けてスケジュールや締め切りなどの全体の動きを見ながら、役割分担を中心に行っている。また、話し合いでは、合意形成へ向けて、グループの意見をまとめることに貢献しているだけでなく、発言が少ない人など、他の人に対しても配慮している。

※この作品はクリエイティブ・コモンズ表示 - 非営利 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。